

六甲山で活動する市民団体「六甲山自然案内人の会」が主催する【六甲山の自然観察入門講座】を受講された方々に、六甲砂防事務所で開催している砂防事業や、六甲山地で発生した土砂災害の歴史、その対策について講義を行いました。

また、土石流の模型を使った実験では、砂防堰堤がある場合と、ない場合の比較を行い、土石流が発生した際の砂防堰堤の効果を視覚的に体験していただきました。

概要

日時：令和7年7月26日（土）

13:00～15:00

場所：六甲山ビジターセンター

参加者数：50名

実施内容：六甲砂防事務所事業概要（講義）
昭和42年災害を振り返る（映像）
六甲山の砂防堰堤紹介（映像）
実際に発生した土砂災害（映像）
土石流模型実験（実演）

六甲砂防事務所事業概要の説明



土石流の模型を使った実験



～質疑応答（一部）～

Q：六甲山の南側に堰堤が多いことはよく分かったが、北側に堰堤は作らないのか？

A：北側も必要に応じて設置しています。整備状況や保全対象の重要な箇所等、総合的に判断し整備を進めています。

Q：花こう岩の風化を止めることは不可能なのか？

A：自然現象のため難しいです。風化による崩壊から街を守るため、斜面对策を進めています。

★六甲山自然案内人の会★

多くの人々に、六甲山地の素晴らしさ、自然の多様性・不思議さ、自然保護・環境保全の方法を伝えるため、自然観察入門講座や自然観察ガイドなど、様々な活動を行っている市民団体です。



六甲砂防事務所のHPでは、事業の詳細や過去の災害に関する記録等を掲載しています。詳しくは右のQRコードよりHPをご覧ください。



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535
六甲砂防事務所HP <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

